

事前評価調書

I 事業概要																				
事業名	交通安全施設等整備事業（交差点改良）																			
地区名	一般県道半田東浦線																			
事業箇所	半田市上池町始め																			
事業のあらまし	本路線は、半田市と東浦町とを結ぶ幹線路線である。そのため、各市町の市街地を結ぶ南北の幹線道路として、ほとんどの車両が本路線を通過しているため、交通量が多い路線である。 本交差点は、3差路の交差点であり、主交通が県道となっている。平成21年に死亡事故が立て続けに2回起き、その事故対策として、信号現示を歩車分離にしたため、朝夕の大渋滞を招くことになった。このため、主交通を同じ信号現示の中で、流せるよう隅切りの改良や、左折レーンの延伸を実施をして、渋滞の解消を図るものである。																			
事業目標	【達成（主要）目標】 交通の円滑化 交通事故の防止 【副次目標】 （必要に応じて記載する） なし																			
事業費	事業費		内訳																	
	0.15 億円		■工事費 0.12 億円、□用補費 0.0 億円、■その他 0.03 億円																	
事業期間	採択予定年度	平成 25 年度	着工予定年度	平成 25 年度	完成予定年度	平成 26 年度														
事業内容	交差点改良 N=1 式																			
II 評価																				
①事業の必要性	1) 必要性	交差点改良が必要。																		
	判定	A	A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 交差点の円滑化																	
②事業の実効性	1) 事業計画	事業計画及び実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td style="text-align: center;">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事 ・交差点改良</td> <td></td> <td style="text-align: center;">←→</td> </tr> <tr> <td>事業費（億円）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.15</td> </tr> </tbody> </table> ※事業費について、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。							H25	H26	工種 区分	調査・設計	←→		工事 ・交差点改良		←→	事業費（億円）	0.15	
			H25	H26																
	工種 区分	調査・設計	←→																	
工事 ・交差点改良			←→																	
事業費（億円）		0.15																		
2) 地元の合意形成	地元からは整備要望が強く、地元の合意形成は容易になされる。																			
判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 無理のない資金計画となっている。 地元の合意形成も容易である。																		
III 対応方針																				
事業実施	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																			

IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】

整備による周辺交通の変化(交通量、事故内容、件数)